

東京国立博物館 スクールプログラム



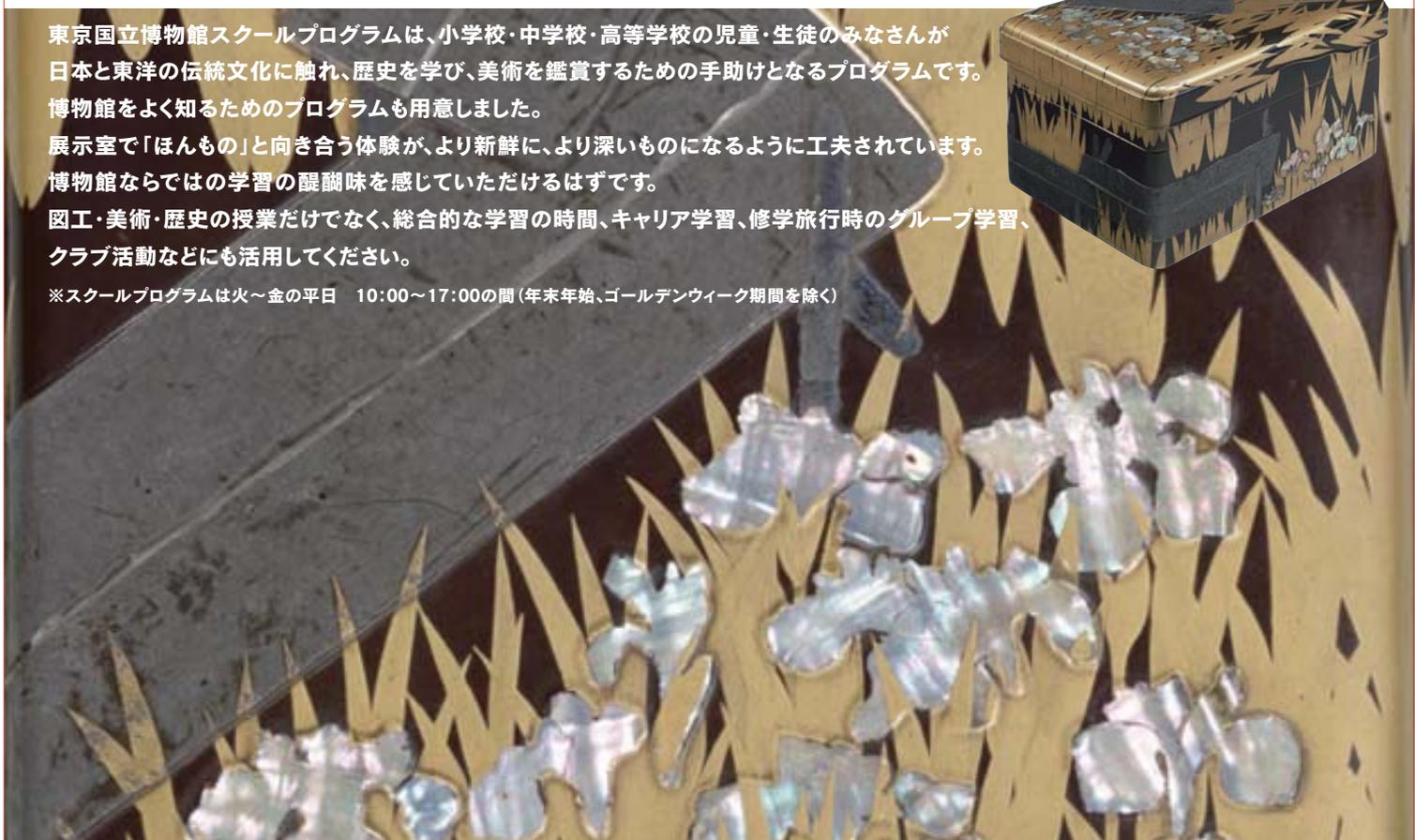
TOKYO NATIONAL MUSEUM 2010.4-2011.3

東京国立博物館スクールプログラムは、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。

展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、より深いものになるように工夫されています。博物館ならではの学習の醍醐味を感じていただけるはずです。

図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、キャリア学習、修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などにも活用してください。

※スクールプログラムは火～金の平日 10:00～17:00の間(年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く)



国宝「八橋蒔絵螺鈿硯箱」尾形光琳作 江戸時代・18世紀



東京国立博物館・本館

東京国立博物館とは？

- ◆ 明治5年(1872)、日本で最初にできた博物館です。
- ◆ 収蔵品の数は11万件以上、国宝87件、重要文化財624件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(件数は2010年3月現在)。
- ◆ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時2000～3000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆ スクールプログラムに対応する展示館は全部で4つ。本館(日本ギャラリー)、平成館(日本の考古、特別展)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)、表慶館(アジアギャラリー)。すべてをまわるには一日あっても足りません。見学のポイントを絞ってお出かけください。
- ◆ 見学には、最低でも60分は必要です。十分時間をとって、ご見学ください。

【開館時間】 9:30～17:00(入館は16:30まで)

原則として4月から12月まで(2010年度は4月23日(金)～12月10日(金)まで)の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館します。

原則として4月から9月まで(2010年度は4月3日(土)～12月12日(日)まで(10月2日(土)・3日(日)は除く))の土曜・日曜・祝日・振替休日は18:00まで開館します。

※入館は閉館の30分前まで

【休館日】 原則として月曜日(ただし月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始(12月27日(月)～2011年1月1日(土・祝))。ただし、ゴールデンウィーク期間(2010年度は4月27日(火)～5月9日(日))とお盆期間(2010年度は8月10日(火)～8月22日(日))、11月8日(月)、11月15日(月)は、開館します。

※2010年6月22日(火)は設備保守点検のため臨時休館します。

【観覧料金】 一般600円(500円)、大学生400円(300円)※()内は20名以上の団体料金 ※特別展の場合は別料金となります。

東京国立博物館の最高の収蔵品を中心に構成された平常展を、**高校生以下は無料**でご覧いただけます。また、**学校の教育活動で来館された場合、先生方も無料**となります。学校での来館のための**先生による下見も無料**です(予約不要)。下見当日、正門でお申し出ください。(ただし、特別展に関しては別途料金が必要となります)

レクチャールームでのプログラム

パワーポイントの画像を見ながら話をします



博物館の概要と見学当日の見どころ案内

A はじめての東博

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

はじめて東京国立博物館に来館される生徒のためのガイダンスです。博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナーについて、さらに展示館の概要を、その日に見られる主な展示作品の情報を交えてお話します。

- ☞ 展示を見学するためのガイダンスです。展示見学の前にお受けください。ガイダンス終了後、必ず見学時間を1時間以上確保してください。
- ☞ 学校の授業進捗に合わせて、特に強調してもらいたい時代やジャンル、テーマなどございましたら、お申し出ください。
- ☞ 特別見学の際には、あわせて特別展のみどころをご紹介しますことができます。

鑑賞入門シリーズ

B はじめての仏像

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:中学生・高校生

* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

仏像の種類や、それぞれの役割に応じた特徴、作成の時代による違いなど、仏像鑑賞の基礎を東博の収蔵品を中心に、画像を使って解説します。

- ☞ 展示室で仏像を鑑賞することを前提としたガイダンスです。展示室での見学時間を1時間以上確保してください。
- ☞ 関西方面に修学旅行を予定されている場合の事前学習にも最適です。

C はじめての浮世絵

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

浮世絵版画鑑賞の基礎をお話します。

刷り工程見本や展示作品の画像を使って、浮世絵版木の技法や鑑賞のポイントを解説します。

- ☞ 展示室での浮世絵の鑑賞を前提としたガイダンスです。展示室での見学時間を1時間以上確保してください。
- ☞ 重ね摺りで北斎の「神奈川沖浪裏」を完成させる簡単なアクティビティの体験もできます。

D はじめての考古

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

本館・平成館考古展示室の見学のためのガイダンスです。考古学って何?どんな場所からみつかри、そこから何がわかるの?縄文土器から江戸時代の発掘品まで、考古学のおもしろさ、見どころを解説します。

- ☞ 展示室での日本考古の鑑賞を前提としたガイダンスです。展示室での見学時間を1時間以上確保してください。



●重要文化財「土偶」
通年
展示場所未定

●国宝「袈裟摺文銅鐺」
通年
本館1室・平成館考古展示室



●重要文化財「埴輪 腰かける巫女」
通年
平成館考古展示室



●国宝「埴輪 挂甲の武人」
通年
平成館考古展示室



●国宝「銀象嵌銘大刀」
通年
平成館考古展示室



●国宝「竜首水瓶」
通年
法隆寺宝物館



●国宝「古今和歌集(元永本)」
4月13日～5月30日 本館2室



●国宝「餓鬼草紙」
8月24日～10月3日 本館2室

* 展示期間は変更することもあります。詳細は、東京国立博物館ホームページ「名品ギャラリー」、「展示 >> 年間の特別展・平常展」をご覧ください。

展示室での 作品鑑賞プログラム

A じっくり見る東博

所要時間: 30分

参加人数: 1グループ6名まで(4グループ、計24名まで。それ以上の
場合、時間をずらして実施いたします)

会場: 本館等展示室

対象: 小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

展示室ではんものの作品を、博物館研究員と一緒に鑑賞するプログラムです。
生徒たちの興味・関心を引き出しながら、ひとつ(あるいは1テーマ)の作品を
じっくり見る対話形式のプログラムです。グループで意見交換をし、いろいろ
な見方を通して、作品鑑賞の枠を広げてください。

好きな
ジャンルを
選ぶことが
できます。



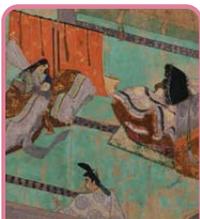
①考古
(土偶、銅鐸、埴輪など)



②仏像



③浮世絵



④絵画
(屏風・襖絵・掛軸など)



⑤生活の道具
(着物・陶磁・漆工芸など)



B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術

所要時間: 10分(最初の説明)

参加人数: 380名まで

会場: 本館20室、平成館大講堂、小講堂、本館等展示室

対象: 小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 70分以上
(ワークシートによる自由見学時間含む)

日本の伝統模様や季節感、昔の道具と
現代の道具のつながりなどに注目しな
がら、ワークシートを使って、各自、展示室
をめぐってみましょう。最初にワークシート
の使い方と博物館の見学マナーの説明
を行います。ワークシートは当館ホーム
ページよりダウンロードしていただくこ
とも可能です。



● 国宝「秋冬山水図」
雪舟等楊筆
2011年1月2日～2月6日
本館2室



● 国宝「片輪車蒔絵細工箱」
6月15日～9月12日
本館13室



● 重要文化財「色絵月梅園茶壺」仁清
6月15日～9月12日・2011年1月2日～3月13日
本館13室

● 国宝「鷹見泉石像」
渡辺崋山筆
5月18日～6月27日
本館8室



● 重要文化財「夏秋草園屏風」酒井抱一筆
6月29日～8月8日 本館8室



● 重要文化財「小袖 白綾地秋草模様」
尾形光琳筆
8月31日～10月24日
本館10室



● 重要文化財「伝源頼朝坐像」
～4月18日、9月14日～12月12日
本館11室



● 国宝「八橋蒔絵細工箱」尾形光琳作
5月11日～6月13日 本館8室



● 重要文化財「老猿」
高村光雲作
2011年1月30日
本館18室

※11月15日(月)は展示替えのため本館2階「日本美術の流れ」1～10室を閉室します。 ※12月14日(火)～12月26日(日)は展示環境改善のため本館1階11～19室を閉室します。

ワークショップ

体験型のプログラムです

作品の取り扱いやものづくりを通して、日本と東洋の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作の契機となり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

A 絵巻の取り扱い体験と日本画材料

所要時間：120分 参加人数：20名まで

会場：平成館小講堂ほか

対象：中学生・高校生

* 必要滞在時間 180分以上(自由見学時間含む)

日本の伝統的な絵巻様式に絵巻物がありますが、実際に扱った経験のある生徒は少ないはず。絵巻を自分で広げ、巻き取りながら見てみると、物語の流れる様子が実感できるでしょう。日本文化の伝統様式に触れるとともに、取り扱い講習を通じて文化財を大切に扱うことを学び、文化財保護の意義を理解するためのプログラムです。日本画に使う材料も紹介します。

👉 3名～6名程度のグループで一つの、絵巻作りもできます。(+60分～)

横長の画面構成と物語を展開させるための工夫など、絵巻独自の表現様式を理解すると同時に、共同作業の難しさ、楽しさを学びます。できあがった作品は、当日お持ち帰りいただけます。



B 伝統模様のお皿づくり

所要時間：120分以上 参加人数：20名まで

会場：平成館小講堂ほか

対象：中学生・高校生

* 必要滞在時間 180分以上(自由見学時間含む)

展示作品を見学しながら、日本の伝統的な図柄や模様をみつけてスケッチし、それを陶芸用のサインペンで、お皿にデザインします。

作品鑑賞を通して伝統模様を学び、お皿に表現することでデザイン力を身につけ、古美術に親しむことができます。

ご来館の季節に合わせて、春夏秋冬の展示作品にあわせた、季節のお皿作りもできます。

👉 夏休みの部活動にもご利用いただけます。

👉 お皿は焼成後、後日郵送でお渡しいたします。(着払い宅配便使用)

C 模様スタンプで鏡と着物をデザインしよう

所要時間：20分以上 参加人数：40名まで

会場：平成館小講堂ほか

対象：小学生・中学生・高校生

* 必要滞在時間 80分以上
(自由見学時間を含む)

日本の伝統模様のスタンプを使って、鏡や着物型のポストカードをデザインします。模様の意味を知り、配置の仕方を工夫してください。ワークショップを通して、展示室内の鏡や着物、伝統模様により興味をもつことができます。

👉 滞在時間が短いグループや、1クラスの参加でも、ご参加いただけます。

👉 展示見学の前でも後でも実施できます。



キャリア学習のための プログラム

A 博物館の裏側インタビュー

所要時間:30分 参加人数:10名まで

会場:本館20室ほか

対象:小学校高学年・中学生・高校生

*必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

博物館の仕事や運営について博物館研究員がインタビューを受けます。

☞ 申し込み後、あらかじめ質問事項をお聞かせいたします。

B 博物館の仕事ガイダンス

所要時間:30分 参加人数:380名まで

会場:本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:中学生・高校生

*必要滞在時間 90分以上(自由見学時間を含む)

博物館の仕事や運営、役割について、展覧会ができるまで、展示室での文化財保護のための工夫についての、通常の展示鑑賞では気がつかない展示の裏側について、画像を使ってお話しします。

☞ 大人数で、博物館の仕事について知りたいとき、最適です。プログラム1のほかのガイダンスと組み合わせることもできます。



就業体験の受け入れも実施しています

学校教育活動の一環として実施される就業体験の受け入れをいたします。

当館の生涯学習ボランティアとともに、お客様案内、館内配布パンフレットの印刷、簡単なアクティビティの運営の補助などを体験できます。

キャリア学習にお役立てください。



【受け入れのガイドライン】

活動日時:火曜～金曜の平日 10:00～17:00
(ただし、盆、年末年始期間は実施できません)

活動期間:5日間まで

受け入れ人数:1日につき4名程度

申込方法:実施日の6ヶ月前から受け付け(先着順)

就業体験に関しては、別途詳細案内を用意しております。

お問い合わせ、申し込みは当館博物館教育課ボランティア室まで。

TEL 03-3822-1111(代表)



スクールプログラムの活用

博物館での見学をより思い出深いものにするために、事前学習をおすすめします。また、博物館で学んだことは、博物館の中だけではなく学校に帰ってからも活用できます。博物館に来たことをきっかけに、子どもたちの世界が広がるのが私たちの願いです。

学校での事前学習

ホームページで博物館のことを調べてみよう

対象教科：小・中「総合的な学習」、中「技術」

博物館に行けば何を見られるの？ 収蔵品はいくつあるの？ 博物館の歴史は？ こういったことは、全て東博ホームページに載っています。たくさんの作品画像も見られます。また、「児童・生徒のみなさんへ」のコーナーでは、児童・生徒向けの情報や館からのメッセージが掲載されています。

東京国立博物館ホームページURL <http://www.tnm.jp>

* ホームページ活用方法

今日の博物館 →	カレンダーで見学の予定日をクリックすれば、その日見られる展示作品のリストが見られます。
名品ギャラリー →	館蔵品のデータを地域・時代・世紀・分野など様々な条件から検索できます。
館の歴史 →	東京国立博物館の歴史が興味深い図版や写真とともに紹介されています。
組織・事業 →	東京国立博物館の組織図や収蔵品、入場者数のデータが見られます。

※平常展示は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見られるとは限りませんのでご注意ください。

見学のマナーを確認しよう

- 1 ゆっくり、静かに
- 2 さわらない
- 3 メモはえんぴつで
- 4 写真のルールを確認しよう
- 5 飲食は決められたところで

公共施設でのマナーを学ぶ格好の機会です。当館ホームページの「児童・生徒のみなさんへ」のコーナーに「博物館からのおねがい」が掲載されているので、事前に確認をしておきましょう。

博物館での学習

日本美術を見てみよう

対象教科：中2-3「美術」「日本史B」、高「美術」

東博には、縄文時代から近代までの、さまざまな分野の文化財が展示されています。これらを鑑賞することによって、日本の美術・文化・伝統に対する理解が深まり、それらを後世に伝えていくことの重要性について考えることができます。

日本とアジアを比べてみよう

対象教科：小6「社会」、中2-3「美術」、高「世界史」

本館の日本美術と東洋館のアジア美術を比較して見てみましょう。仏像の姿かたちは地域によって異なること、あるいは影響関係があることなどに気づくでしょう。異文化交流の軌跡をたどることで、日本のみならず諸外国の文化や伝統を尊重する態度が養われ、国際理解にもつながります。

お気に入りの作品について語ろう

対象教科：小・中・高「国語」、小「図工」、中・高「美術」

作品のどこが気に入ったのか、もしもそれが自分のものになったなら、どこに飾るか、どんなふうにするかなど友人に語ることで、鑑賞を深めると同時に想像力を育み、豊かな表現力を身につけることができます。

学校での事後学習

作品がどのように作られたのか調べてみよう

対象教科：小3-6「図工」、小6「社会」「国語」

絵巻ってどんなしくみの？ 仏像はどうやって作るの？ 漆の材料ってなに？ など、作品を見ていると疑問に思うこともできます。作品の材料や技法などについて調べ、学校でも実際に制作してみましょう。

例えば

- ◆ 博物館に行った思い出を、絵巻風に描いてみる。(指導要領との関わり:美術文化の継承と創造、文章の組み立て)
- ◆ 伎楽面、根付などを作る。(指導要領との関わり:立体的な表現、日本文化の国際的な要素の理解、町人文化の理解)

展覧会を作ってみよう

対象教科：小3-6「図工」「国語」「社会」「生活科」、
小・中「総合的な学習」

生徒たちが学芸員となって、図工・美術の時間に制作した作品の展覧会を企画します。東博の展示を参考に展示全体のテーマ、会場構成、展示デザインを考えたり、作家(友だち)へのインタビューを元に文章を組み立てたり(作品解説)、クラスの皆の前で作品解説のスピーチを行ってもよいでしょう。授業で行うほか、校内展や文化祭などでも活用できます。また、自分たちで実際に展示を行うことによって公共施設を支える人々の仕事を理解することにもつながります。

博物館の思い出をカルタにしてみよう

対象教科：小・中・高「国語」、小「図工」、
中・高「美術」「総合的な学習」

博物館で見たこと、聞いたこと、考えたことをカルタにしてみましょう。ただ文章を作るだけでなく、五七五調で作れば、日本の伝統的な国語表現を体験でき、言語感覚も豊かになります。あとは博物館で見た景色や気に入った作品を描けば、自分たちだけの「東博カルタ」の完成です。カルタで遊びながら、友達の作品をよく見てみましょう。
※博物館に行く前に生徒それぞれに字を割り当てておくと、よりスムーズに進みます。

よくある質問

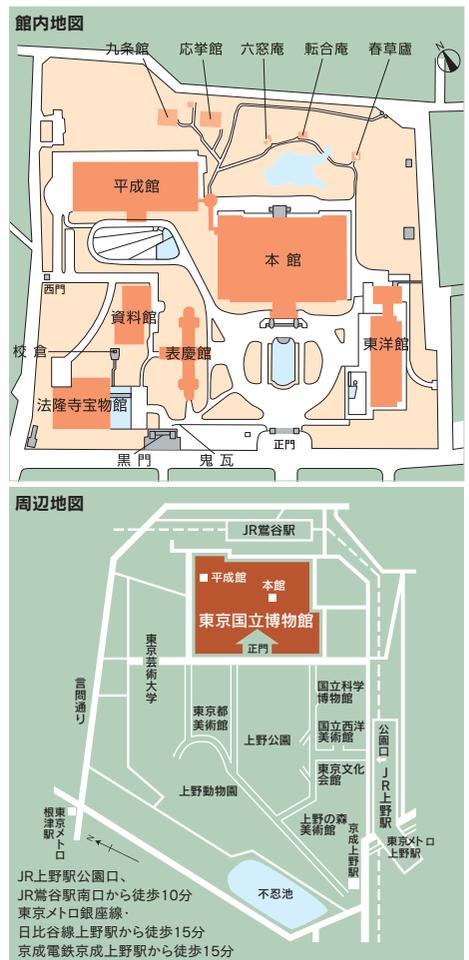
- Q** スクールプログラムの参加費はいくらですか？
A 原則として、無料です。
- Q** スクールプログラムの受講に引率は必要ですか？
A プログラム実施中は講師および補助のスタッフがおりますので、特に心配のない場合は先生がついていなくても大丈夫です。ただしプログラム実施前・終了後の責任は負いかねますので、ご了承ください。
- Q** スクールプログラムは申込制ですか？
A 必ず事前にお申し込みください。受付は、先着順で行っています。
- Q** 複数のプログラムを受けることができますか？
A 十分な見学時間をとっていただきたいので、1度の訪問につき、ひとつのプログラムの受講をおすすめします。複数お受けになりたい場合は、ご相談ください。
- Q** プログラムの実施内容や見学について相談にのってもらえますか？
A 提示されたコース以外にご希望がある場合、下見や事前の打ち合わせを希望する場合、その他スクールプログラムに関する質問・相談は、東京国立博物館教育普及室(TEL:03-3822-1111・代表/e-mail:edu@tnm.jp)で受け付けています。
- Q** 館内で食事はとれますか？
A お弁当の場合、平成館ラウンジ(申込不要)をご利用いただけます。レストランの場合は、東洋館1階「レストラン ラコール」(改修工事のため、一時閉店の場合あり)か、法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」をご利用いただけます(予算:1000円〜)。ただし、特別展開催期間中などは

混雑が予想されます。

- Q** 教科書に載っている作品はいつも見られますか？
A 平常展示は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見られるとは限りません。あらかじめ東京国立博物館ホームページで調べてからご来館ください。
- Q** 大型バスで行くことはできますか？
A 学校の団体がお越しの際、当館敷地内に駐車できます。ただし、都合によりご希望に添えないこともありますので、事前にご相談ください。
- Q** 下見に行くことはできますか？
A 教育活動で先生が下見されるための入館は無料です(特別展を除く)。予約の必要はありません。来館時に正門でお申し出ください。また、スタッフと事前に打ち合わせをしたい場合はあらかじめ教育普及室までご連絡下さい。
- Q** 観覧料金は？
A 小・中・高校生および引率する教員の入館は無料です(特別展を除く)。特別展については、各特別展ごとに別途料金が定められていますので、当館ホームページなどでご確認ください。
- Q** 自由見学は、予約が必要ですか？
A 自由見学に際して特に予約は必要ありませんが、団体での見学の場合、会場内での混雑を避けるために、来館時間についてアドバイスさせていただくこともありますので、あらかじめ総務課までご相談ください。スクールプログラムを受講する場合は、予約が必要です。かならず教育普及室に連絡してください。

スクールプログラム 受講までの手続き

- 1 電話連絡相談**
 学校名、来館希望日、時間、人数、学習内容、連絡先、担当の先生などをお知らせください。博物館をどのように利用したいか、お聞かせください。おすすめのスクールプログラムの提案をさせていただきます。また、すでにお決まりの場合は、実施できるかどうか、スケジュールの確認をします。
- 2 書類の提出**
 ご来館の2週間前までに、スクールプログラム申込書をFAXしてください。(巻末の書式をコピーしてご利用ください)
- 3 博物館から確認の連絡**
 教育普及室より、当日の入館方法、集合場所などの連絡を行います。学校での学習内容、研究員への質問や、生徒の興味などをお聞かせいただくと、当日、より細かな対応ができます。
- 4 「参加証」受け取り**
 スクールプログラムの参加証をFAXでお送りします。集合場所、集合時間などが書いてありますので、ご確認の上、当日お持ちください。訂正、変更がある場合は、ご連絡をお願いします。
- 5 当日**
 当日の欠席、人数変更、到着の遅延などありましたら、お知らせください。来館の際、参加証をお持ちください。
- 6 後日**
 博物館をご利用してみたのご意見、ご感想などがありましたら、ぜひお聞かせください。今後のプログラムの参考にさせていただきます。



お問合せ先

● 東京国立博物館教育普及室 (03) 3822-1111(代表)またはe-mail:edu@tnm.jp

東京国立博物館スクールプログラム申込書



東京国立博物館 教育普及室 御中

平成 年 月 日

TEL: (03) 3822-1111 (代表) FAX: (03) 3822-3010

入館時間	時	分	
来館日時	月	日	曜日
退館時間	時	分	
※火～金の平日、10:00～17:00の間	プログラム開始時間	時	分
(ふりがな) 学校名	学年	年	
(ふりがな) 先生の名前	先生		
(ふりがな) 代表生徒名 *引率がない場合必須			
学校の住所 (〒 -)			
電話番号	FAX番号		
人数: 生徒 名 + 引率教員 名 + 添乗員・保護者など、教員以外の引率者 名 = 合計 名			
スクールプログラムの参加の目的	1. 遠足・社会科見学	2. 修学旅行	3. 各教科の学習 (科目:)
	4. 総合的な学習の時間	5. その他 ()	
スクールプログラムコース (全12コースの中からひとつを選び、○をつけてください)			
1 レクチャールームでのプログラム			
A はじめての東博	B はじめての仏像		
C はじめての浮世絵	D はじめての考古		
2 展示室での作品鑑賞プログラム			
A じっくり見る東博 (下記から希望のジャンルを選んでください)	B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術		
①考古 ②仏像 ③浮世絵 ④絵画 ⑤生活の道具			
3 ワークショップ			
A 絵巻の取り扱い体験 絵巻作り (+60分) <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	B 伝統模様のお皿づくり		
C 模様スタンプで鏡と着物をデザインしよう			
4 キャリア学習のためのプログラム			
A 博物館の裏側インタビュー	B 博物館の仕事ガイダンス		
ご希望: <input type="checkbox"/> バスの駐車場 (台) <input type="checkbox"/> 特別展の見学			
<input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ (月 日 時 分～)	* 下見にはお申し込みの必要はありません。 正門で手続きの上、ご入館ください。		

* 太枠内のみご記入をお願いします。

* 各プログラムに参加されるための必要滞在時間を満たしているか、ご確認ください。

* 電話でスケジュールを確認したうえで、ご来館の2週間前までに、FAXにてお申し込みください。



東京国立博物館

TEL (03) 3822-1111 (代表) FAX (03) 3822-3010

e-mail edu@tnm.jp URL http://www.tnm.jp